

平成29年度事業報告書

特定非営利活動法人
神奈川被害者支援センター
自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

第1 総括

1 被害者支援を巡る情勢

平成29年度は、平成21年6月1日、かながわ犯罪被害者サポートステーション（以下「サポステ」という）に支援活動の場を移して9年目に入り、被害者支援活動も更に充実した1年であった。

事業活動では、増加傾向にある、基本的事業である相談事業、直接支援事業等の適正推進を図ったほか、平成24年10月から実施した「いのちの大切さを学ぶ教室」も定着した。また、全国に先駆けて実施した「性犯罪被害者支援の四者協定」に関しては、ホットライン型・ワンストップ体制の定着化に努めたほか、神奈川県が活動を深化させた「かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター（通称：かならいん）」との連携を強化した。

更に、犯罪被害者に対する理解と当センターの知名度アップを目的に「犯罪被害者週間」を中心に地元警察署の支援を受けて実施した駅頭等のキャンペーンは、横浜駅新都市プラザやJR新横浜駅前等5ヶ所で実施したが、各警察署支援ネットワーク会員のほか、協力団体、地元大学生等多数の方の支援を受けて初期の目的を達成した。また、日本財団の助成を受けてホームページのリニューアルを行った。

一方、財政面では、平成25年度を初年度とする、日本財団からの預保金による財政基盤の確立のための補助金を受ける事ができ、ファンドレイジング活動を強化した。また、寄付金付自動販売機の設置、募金箱設置、ホンデリング（書籍寄附）活動等による財源の確保に向けた活動を継続し、活動資金獲得のための諸活動を強力に推進した。

2 会員の状況

平成30年3月31日現在、正会員数は174名、個人賛助会員は196名、団体賛助会員は398団体（合計768名・団体）であった。

3 会費の状況

平成29年度中に会費を納入していただいた正会員は145名、個人賛助会員は130名、団体賛助会員は358団体（合計633名・団体）であった。

4 寄付の状況

平成29年度中の寄付は、個人46名、団体79団体であった。

第2 支援事業等の実施状況

1 電話相談事業等

電話相談事業は、県相談電話（サポステ）業務を受託していることから、祝日及び年末年始を除く月曜日から土曜日の午前9時から午後5時まで実施、ハートライン神奈川も同様に月曜日から金曜日の午前10時から午後4時までの間、電話相談員が交代で相談にあたった。

平成29年度に受理した電話相談等は923件、来所相談は9件で合計932件であった。

2 面接相談事業

平成29年度中、契約（登録）カウンセラーによるカウンセリングを126回実施した。

3 直接支援事業

平成29年度中、裁判所や検察庁、法律相談等への付添い支援を953回実施した。

4 被害者の自助グループ支援事業

自助グループ「ジュピター」を毎月1回開催して被害者の立ち直りを支援した。

また、犯罪被害者団体ネットワーク（ハートバンド）全国大会2017にも参加した。

5 「いのちの大切さを学ぶ教室」事業

県警察からの受託事業として、県下の中学・高校53校(65回)、13,236名を対象に実施した。あわせて、リーフレット「あなたが、あなたの家族や友人が犯罪被害者になったら」を受講生徒全員に配付して、本人・家族に対する犯罪被害者支援についての理解と啓発に努めた。また、8月22日に検討会を開催してスクールアドバイザーのスキルアップに務めた。

6 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

神奈川県、神奈川県警察、法テラス、横浜市、全国被害者支援ネットワーク(以下「全国ネット」という)などの関係機関・団体との会議、研修会、講演会やイベント等に90回参加して情報の共有と連携に務めた。また、犯罪被害者等263名(前年度324名)の支援調整会議を実施するなど支援活動の充実を図った。

No	実施日時	活 動 内 容
1	H29. 4. 4	全国ネットサポートセンター検討会
2	4. 21	全国ネット事務局長会議
3	4. 24	神奈川県犯罪のない安全安心まちづくり推進会議総会
4	5. 11	横浜市「途切れのない支援」関係機関合同会議
5	5. 22	相模原北警察署被害者支援ネットワーク会議
6	5. 25	法テラス被害者連絡会
7	5. 31	全国ネット通常総会
8	5. 31	県・市町村担当者会議
9	6. 2	保土ヶ谷警察署被害者支援ネットワーク会議
10	6. 5	津久井警察署被害者支援ネットワーク会議
11	6. 7	鎌倉警察署被害者支援ネットワーク会議
12	6. 8	厚木警察署被害者支援ネットワーク会議
13	6. 12	小田原警察署被害者支援ネットワーク会議
14	6. 16	藤沢北警察署被害者支援ネットワーク会議
15	6. 19	多摩警察署被害者支援ネットワーク会議
16	6. 20	麻生警察署被害者支援ネットワーク会議
17	6. 23	磯子警察署被害者支援ネットワーク会議
18	6. 26	旭警察署被害者支援ネットワーク会議
19	6. 27	港北警察署被害者支援ネットワーク会議
20	7. 4	金沢警察署被害者支援ネットワーク会議
21	7. 7	全国ネット経理担当者会議
22	7. 7	大磯警察署被害者支援ネットワーク会議
23	7. 25	大和警察署被害者支援ネットワーク会議

24	7.27	県弁護士会第60回人権大会
25	7.28	法テラス被害者連絡会
26	8.4	全国ネット支援活動会議
27	8.5	橋本七夕まつりキャンペーン
28	8.22	「いのちの大切さを学ぶ教室」の講師研修会
29	9.5	第26回暴力追放県民大会
30	9.6	横浜市共通ツール関係機関研修会
31	9.8	犯罪被害者等に関する行政職員研修（県・横浜市主催）
32	9.27	第1回関係機関支援担当者合同会議
33	9.28	法テラス被害者連絡会
34	9.29	県警察第1回メンタルサポート検討会
35	10.3	川崎警察署被害者支援ネットワーク会議
36	10.6	全国ネットフォーラム2017
37	10.7/8	全国ネット研修会
38	10.13	関東・甲信越ブロック事務局長会議
39	10.15	旭区民まつりキャンペーン
40	10.25	「いのちの大切さを学ぶ教室」作文コンクール審査委員会
41	11.5	神奈川工科大学キャンペーン
42	11.5	西区民まつりキャンペーン
43	11.6	宮前警察署被害者支援ネットワーク会議
44	11.7	相模原南警察署被害者支援ネットワーク会議
45	11.9	逗子警察署被害者支援ネットワーク会議
46	11.10	海老名警察署被害者支援ネットワーク会議
47	11.13	横浜水上警察署被害者支援ネットワーク会議
48	11.14	県警察第2回メンタルサポート検討会
49	11.15	伊勢原警察署被害者支援ネットワーク会議
50	11.16	浦賀警察署被害者支援ネットワーク会議
51	11.16	北久里浜駅前キャンペーン
52	11.17	平成29年度横浜市犯罪被害者支援講演会（共催）
53	11.20	青葉警察署被害者支援ネットワーク会議（現場想定）
54	11.21	藤沢警察署被害者支援ネットワーク会議
55	11.24	横浜そごう前新都市プラザキャンペーン
56	11.25	ハートバンド全国大会2017
57	11.27	ラゾーナ川崎キャンペーン
58	11.28	新横浜駅前キャンペーン
59	11.28	葉山警察署被害者支援ネットワーク会議
60	11.29	法テラス被害者連絡会
61	11.30	平塚警察署被害者支援ネットワーク会議
62	11.30	加賀町警察署被害者支援ネットワーク会議
63	12.1	相模原警察署被害者支援ネットワーク会議
64	12.4	中原警察署被害者支援ネットワーク会議

65	12. 4	伊勢佐木警察署被害者支援ネットワーク会議
66	12. 5	都筑警察署被害者支援ネットワーク会議
67	12. 6	戸塚警察署被害者支援ネットワーク会議
68	12. 7	川崎臨港警察署被害者支援ネットワーク会議
69	12. 8	田浦警察署被害者支援ネットワーク会議
70	12. 8	高津警察署被害者支援ネットワーク会議
71	12. 11	横須賀警察署被害者支援ネットワーク会議
72	12. 14	県警察第3回メンタルサポート検討会
73	12. 15	港南警察署被害者支援ネットワーク会議
74	12. 18	幸警察署被害者支援ネットワーク会議
75	12. 19	戸部警察署被害者支援ネットワーク会議
76	12. 21	泉警察署被害者支援ネットワーク会議
77	H30. 1. 17	横浜市「途切れのない支援」関係機関合同会議
78	1. 19	横浜市犯罪被害者等施策懇談会
79	2. 1	県・市町村担当者会議
80	2. 5	瀬谷警察署被害者支援ネットワーク会議
81	2. 7	法テラス被害者連絡会
82	2. 13	茅ヶ崎警察署被害者支援ネットワーク会議
83	2. 20	座間警察署被害者支援ネットワーク会議
84	2. 22	平成29年度四者協定に基づく研修会
85	2. 23	山手警察署被害者支援ネットワーク会議
86	2. 26	南警察署被害者支援ネットワーク会議
87	2. 27	県警察第4回メンタルサポート検討会
88	3. 5	横浜市犯罪被害者等施策懇談会
89	3. 23	法テラス被害者連絡会
90	3. 29	大船警察署被害者支援ネットワーク会議

7 被害者支援活動に関する広報啓発事業等

広報啓発事業として次のとおり実施した。

- (1) 「犯罪被害者週間（11/25～12/1）」にむけてのキャンペーン活動として、平成29年11月5日（日）神奈川工科大学（学園祭）、16日（木）北久里浜駅前、27日（月）ラゾーナ川崎、28日（火）新横浜駅前において各警察署およびネットワーク関係者や地域の方による協力のもと広報活動を行なった。また、11月24日（金）には、横浜駅東口の横浜そごう前広場（新都市プラザ）において県、県警察と共催し、神奈川県弁護士会、横浜地方検察庁、法テラス神奈川等の後援の下、県警音楽隊を招聘して恒例のキャンペーンを実施した。
- (2) 広報誌ハートメッセージによる情報発信、啓発活動
ハートメッセージ26号7,000部、27号6,000部（計13,000部）を作成し、会員のほか警察署、市区町村、病院等の関係機関、団体等に配付したほか、講演会等でも活用して成果をあげた。
- (3) ホームページの活用

効果的な広報とネット社会の効率性を活用するため日本財団の補助を受けてホームページのリニューアルを行い、常に新しい情報提供に努めたほか、他の関係機関、団体等とリンクさせて活発な広報を行った。

(4) 他機関等による当センター（サポートステーション）の視察等

本年度中は、警察大学校カウンセリング専科生27名(5/16)、神奈川県関係機関13名(6/22)、日弁連犯罪被害者委員会3名(8/31)、横浜弁護士会被害者支援委員会(司法修習生11名・10/19)、大阪府・府警察3名(1/17)、全国ネット電話相談員10名(3/1, 6)等、計8回の視察等があったがそれぞれ適切に対応した。

(5) 関係団体による広報活動

県下各警察署被害者支援ネットワーク総会にて広報・啓発活動等について協力要請を行ったところ、18（前年10）警察署関係団体（戸部、相模原北、泉、麻生、横浜水上、川崎臨港、幸、横須賀、川崎、旭、秦野、宮前、海老名、伊勢佐木、厚木、栄、津久井、支援室）が、七夕まつり、市(区)民まつり等の機会を通じて被害者支援の広報（募金）活動を展開した。地域での被害者支援の気運が更に広がりつつある。

(6) 講師派遣

今年度は、20回にわたり、県警、検察庁、学校等に所長以下職員並びに当センター登録の臨床心理士等を派遣した。

	期 日	場 所	対 象 者
1	H29. 5. 26	神奈川県警察学校	警察官
2	6. 23	横浜建設業協会 青葉区会・青葉土木安全協議会	会員
3	6. 28	青葉事業所防犯協会	会員
4	7. 10	群馬県・前橋育英高等学校	在校生
5	7. 13	茨城県東海村立東海南中学校	在校生、保護者
6	7. 13	神奈川県警察学校	警察官
7	7. 18	群馬県警察学校	警察官
8	7. 19	群馬県立安中総合学園高等学校	在校生
9	9. 5	神奈川県警察学校	警察官
10	10. 10	横浜田園ロータリークラブ	会員
11	10. 26	小田原警察署	警察官
12	11. 2	神奈川県警察学校	警察官
13	11. 6	群馬県・榛東村立榛東中学校	在校生
14	12. 8	茨城県桜川市立大和中学校	在校生、保護者
15	12. 14	横浜人権擁護委員協議会	協議会員
16	12. 27	神奈川県警察学校	警察官
17	3. 7	神奈川県タクシー協会横浜支部西ブロック	会員
18	3. 12	〃	北ブロック
19	3. 13	〃	南ブロック
20	3. 15	川崎ロータリークラブ	会員

8 被害者の実態等に関する調査・研究事業

県、県警、神奈川県被害者支援連絡協議会、法テラス被害者連絡会等の各会議に出席し、

連携要領等について意見交換を行った。

9 研修・養成事業

(1) 犯罪被害者等支援員ボランティア養成講座

かながわコミュニティカレッジが主催する「犯罪被害者等支援ボランティア養成講座（初・中級25名）」を平成29年7月7日から同年9月22日まで、「犯罪被害者等支援ボランティア養成講座（上級16名）」を平成29年10月23日から平成30年1月12日までの間、県からの委託事業として、各50時間実施した。

(2) 研修会の実施

当センターの相談員のスキルアップを図るため、毎月1回、実例に基づく検討や、弁護士、関係機関等からの部外講師による月例研修会を12回実施したほか、相談受理要領等の向上のためロールプレイ方式による特別研修を実施した。

(3) 全国ネット主催のスキルアップ研修会への参加

全国ネット秋期研修会12名（東京10/7, 8）のほか、質の向上ブロック上半期研修会3名（水戸7/1, 2）、質の向上下半期研修会2名（水戸2/24, 25）に参加した。

第3 管 理（平成29年4月1日現在）

1 執行体制

理事長	榑原高尋
副理事長	村尾泰弘
副理事長	武内大徳
理事	繁多進
理事	鈴木達也
理事	勝島聡一郎
理事	近藤晶一
理事	山口正志
理事	藤井邦彦
理事	山田美和子
理事	藤木幸太
専務理事	長島豪（常勤）
監事	松本純也
監事	安藤義雄

計 14 名

2 業務体制

(1) 総務課

所長（常勤）	事務統括（兼専務理事）	1 名
副所長（常勤）	統括補佐	（1）名
所員	総務課長（欠）	— 名
所員（常勤）	課長補佐	1 名
所員（非常勤）	経理担当	1 名

所 員 (非常勤) ファンド担当	<u>1 名</u>
計	4 名

(2) 事業課

所 員 (常勤) 事業課長 (兼副所長)	1 名
所 員 (常勤) 課長補佐	1 名
所 員 (非常勤) 課員	<u>4 名</u>
計	6 名

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

神奈川被害者支援センター

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員会費	730,000	
団体賛助会費	6,290,000	
個人賛助会費	454,000	7,474,000

【受取寄付金】

受取寄付金	3,227,951	
寄付金(自販機)	916,375	
寄付金(ホンデリング)	219,298	4,363,624

【受取助成金等】

受取助成金	9,800,000	
受取補助金	1,490,000	11,290,000

【事業収益】

受託事業収益		7,068,713
--------	--	-----------

【その他収益】

受取 利息		103
-------	--	-----

経常収益 計

30,196,440

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	8,700,653	
法定福利費(事業)	468,316	
通 勤 費(事業)	841,257	
人件費計	10,010,226	

(その他経費)

諸 謝 金	1,695,598	
印刷製本費(事業)	375,030	
旅費交通費(事業)	2,842,023	
通信運搬費(事業)	546,206	
消耗品 費(事業)	274,577	
広告宣伝費(事業)	1,477,319	
研 修 費	166,815	
支払手数料(事業)	224,347	
雑 費(事業)	6,500	
その他経費計	7,608,415	

事業費 計

17,618,641

【管理費】

(人件費)

給料 手当	5,418,346	
法定福利費	349,376	
通 勤 費	903,012	
人件費計	6,670,734	

(その他経費)

印刷製本費	778,629	
会 議 費	36,750	
旅費交通費	184,330	
通信運搬費	473,666	
消耗品 費	167,307	
水道光熱費	10,045	
賃 借 料	21,298	
広告宣伝費	32,400	
接待交際費	127,215	
新聞図書費	38,268	
減価償却費	248,022	
保 険 料	45,651	
諸 会 費	105,000	
リース 料	1,332,136	
租税 公課	81,800	
支払手数料	597,820	
雑 費	3,672	
その他経費計	4,284,009	

管理費 計

10,954,743

経常費用 計

28,573,384

当期経常増減額

1,623,056

【経常外費用】

税引前当期正味財産増減額		1,623,056
--------------	--	-----------

当期正味財産増減額		1,623,056
-----------	--	-----------

前期繰越正味財産額		14,353,089
-----------	--	------------

次期繰越正味財産額		15,976,145
-----------	--	------------

貸借対照表

神奈川被害者支援センター

[税込] (単位: 円)
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	200,273		
普通預金	8,872,319		
郵便振替	2,719,190		
現金・預金計	<u>11,791,782</u>		
(売上債権)			
未収金	3,123,145		
売上債権計	<u>3,123,145</u>		
(棚卸資産)			
貯蔵品	26,279		
棚卸資産計	<u>26,279</u>		
流動資産合計		14,941,206	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器備品	79,542		
有形固定資産計	<u>79,542</u>		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1,516,320		
無形固定資産計	<u>1,516,320</u>		
固定資産合計		1,595,862	
資産合計			<u>16,537,068</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	405,198		
前受金	47,000		
預り金(所得税)	35,207		
預り金(保険料)	73,518		
流動負債合計		<u>560,923</u>	
負債合計			560,923
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		14,353,089	
当期正味財産増減額		<u>1,623,056</u>	
正味財産合計			<u>15,976,145</u>
負債及び正味財産合計			<u>16,537,068</u>

財 産 目 録

神奈川被害者支援センター

[税込] (単位: 円)
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	200,273		
普通 預金	8,872,319		
郵便 振替	2,719,190		
現金・預金 計	<u>11,791,782</u>		
(売上債権)			
未 収 金	3,123,145		
売上債権 計	<u>3,123,145</u>		
(棚卸資産)			
貯 蔵 品	26,279		
棚卸資産 計	<u>26,279</u>		
流動資産合計		14,941,206	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	79,542		
有形固定資産 計	<u>79,542</u>		
(無形固定資産)			
ソフトウェア	1,516,320		
無形固定資産 計	<u>1,516,320</u>		
固定資産合計		1,595,862	
資産合計			16,537,068
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金	405,198		
前 受 金	47,000		
預 り 金(所得税)	35,207		
預 り 金(保険料)	73,518		
流動負債合計		<u>560,923</u>	
負債合計			<u>560,923</u>
正味財産			<u><u>15,976,145</u></u>